

海とみなと日中学生フォーラム広州合宿2019①

GUANG ZHOU

外国語学部 中国語学科 3年 馮 雪笙

改革開放の—鄧小平

中国で「改革開放」政策の実施が始まつてから昨年12月18日で40年を迎えた。政策を通じて中国は経済大国へと発展を遂げた一方、改革開放路線が中国に民主化をもたらすことではなく、現在は成長の減速に加え、米国との貿易戦争という厳しい逆風にも直面している。

改革開放政策は鄧小平が主導し、1978年12月18日に開かれた中国共産党中央委員会第11期中央委員会第3回総会で開始が決まった。改革開放政策は鄧小平が主導し、1978年12月18日に開かれた中国共産党中央委員会第3回総会で開始が決まった。

「2018年に私たちは改革開放40周年を迎える」と書かれた横断幕



上記の図は深セン市の街頭で「携帯電話」と「ポケベル」を売っているお店



2018年改革開放40周年
ポスター



「時間は金錢であり、効率は命である」当時の街中でよく見かけるスローガン、生産量が急速に成長する広州の労働者は二八自転車に乗って単位(仕事場)に向かっている(出典:広東改革開放40周年展覧)

國人民の生活は小康を実現し、徐々に豊かになつてきました。」これは、中国共産党中央委員会第19回全国代表大会閉幕の翌日に行われた記者会見での習近平総書記による談話の一節である。改革開放を決定づけた中国共産党中央委員会第3回全体会議は1978年12月18日～22日に開催されており、2018年には40年目を迎える。

第19回共産党大会では、「習近平による新時代の中国の特色ある社会主义思想」が新たに党規約に盛り込まれたことが注目を集めた。「中国の特色ある社会主義」は、改革開放の総設計師と呼ばれる鄧小平が提唱したもので、経済面では「社会主义市場経済」がその特徴とされる。1992年1～2月にかけて行われた鄧小平による南巡講話において、改革開放の加速が呼びかけられ、これを踏まえて同

年10月12日～19日に開催された第14回中国共産党大会で「社会主義市場経済」が正式に提起された。これ以降、中国は糾余曲折を経ながらも、現在に連なる経済発展の道を歩んできた。そして、昨年2017年には「社会主義市場経済」の導入からも既に25周年を迎えた。中国では、第19回共産党中央委員会の前後から「毛泽东が国を立ち上げ、鄧小平が国を豊かにし、習近平は国を強くする（中国語で「站起来、富起来、强起来」）という言い回しがよく聞かれるようになった。「習近平による新時代の中国」は、国が強くなる時代とされる。日本のメディアではあまり注目されなかつたが、今回の党大会で新たに党規約に書き込まれた「習近平」を含む表現として「習近平の強軍思想の貫徹」というものもあり、「強い中国」は確かにこれからの中を指している方向性のようにも感じる。

広州白雲国際空港へ到着



2014年広州白雲国際空港に導入された自動荷物預け機。中国国内の主要空港で相次いで導入されている。従来のスタッフ対応がなく、荷物を預けるからチケットを受け取るまで全てセルフサービス。(出典:疯游世界计划ブログ)



白雲国際空港内的一角位ある景色、空港から地下鉄駅に向かっていくと、必ず通るところ。冷たい空港ビルの中にこういった景色は乗客の心を和げるところがとても気になる。(出典:疯游世界计划ブログ)



まだ普及していない自動チェックイン機器。ベストの人はカスタマーに機械の使い方を教えている。一方、キャッシュレスが普及している現在オンラインでチェックインしているカスタマーもたくさんいる。(出典:新華網)

羽田空港から直行便3~4時間ほどで広州白雲空港に到着。白雲空港は、広州市白雲区人和鎮と花都区新華コミュニティ、花山鎮、花東鎮の境目にあり、都心部の海珠広場まで28キロメートルの距離があります。中国国内では、北京首都国際空港、上海浦東国際空港と並ぶ3大空港の1つで、南方航空、海南航空、深セン航空、フェデックスおよび中国国際航空のハブ空港として活躍しています。T1ターミナルはメインターミナル、連結ビル、歩廊、高架通路の四つの部分から成り、メインターミナルは地上3階と地下1階からなっており、三階の出発ロビー、二階のショッピングエリア、一階の到着エリアとショッピングエリアからなって

います。地下1階は地下鉄、駐車場および空港ホテルと繋がっています。
空港から地下鉄の駅に向かつて行くと「時空隧道(タイムスペーストンネル)」が見えます。時空隧道のエスカレーターに乗つていくと、数万個のLEDライトが光つてまるでタイムマシンに乗つている気分になる。その壁に液晶モニターも搭載されていて、広告、地下鉄の運行状況、広州の天気、観光スポットなどが映つていて。乗客たちに隨時情報を提供している。こういった空港特色を作ることによって、地方特色を増やせることができるのことと、別様な乗機体験ができるのも彼らの狙いです。

タクシーの次世代
空港からホテルに向かうには地下鉄やタクシーなどの公共交通機関が多かった。荷物が多いので、タクシーを使うことにした。タクシー乗り場に着いたところ、乗客の少なさに驚いた。隣にいた人と世間話をしたら、大体の人はタクシーを乗らずにDIDI配車を使っているのだ。
DIDI配車とはスマートフォンアプリでタクシーを呼べるタクシーの配車サービスです。DIDI配車アプリは、従来のタクシーの捉まり方と異なり、大規模なインターネットビッグデータを建設しながら、それを用いてユーザー様に現代的なお出かけスタイルを提供しています。



タクシーの支払いをキャッシュレス化することで、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加するインバウンド需要への対応が狙いではないかと思います。



<https://matome.naver.jp/odai/2152408900868427303>



2019年4月24日 東京都と京都府でサービス開始。
2019年度中にサービス展開を20都市に増やす予定。
<https://car.watch.impress.co.jp/docs/news/1182101.html>

DIDI配車の誕生は従来の電話予約配車と道端で捕まるのと違つて、これまでの道端でタクシーケータイプの運転士をつかまることを逆転し、ビッグデータやAI予測システムを使用し、さらに、オンラインとオフラインを組合せ、乗車から降車までは全てオンライン支払いにすること。ドライバーさんと乗客の間にO2O（online to online）を作ること。最大限に乗車気分を、従来の客待ち方式を変え、ドライバーさんが乗客の目的地によって向うか待機するかを選べる。空車率を下げ、お互いの時間を相補し合う。

クレジットカードで決済できるので、降車時に運転手さんと支払いのやり取りが不要になりタクシーをスマートに利用できます。

タクシー運転手さんももちろん、自分名義に乗用車があつて、審査に通ればDIDIドライバーになれる。中国大陸では多くのホワイトカラーの人たちは退勤後、DIDIを使つた副業を始めた方も多く見られる。簡単に始められるので、本業としてやる人もいます。

DIDIはすでに世界400都市で5.5億人以上のユーザーが利用しているサービス、オースト

ラリア、ブラジル、コロンビア、メキシコ、日本、チリ、中国。1日に3,000万回以上利用されている実績のあるサービスです。

配車アプリというと海外のUberが有名ですね。日本国内でも全国タクシー（JapanTaxi）やCREW、MOVなどといった配車サービスが既に開始されています。

日本と違つて中国大陸及び欧米諸国では迎車料金や待機料金は発生しないので、日本では注意が必要だね。

広州・ランドマーク—広州タワー

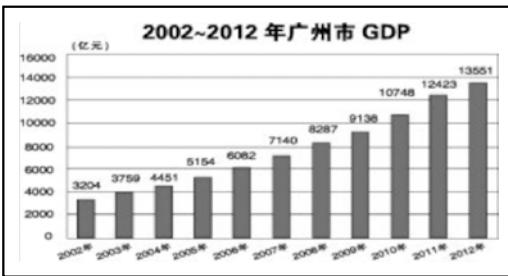
広州のシンボル建物と言つたら「広州タワー」と広州を一望できる広州タワー展望台。

広州は改革開放最初の都市で、1986年、この風景は一変した。1930年代から、ここは中国唯一の海上シルクロードの主要埠頭。唐宋時代では中国一の埠頭、明清両代では中国唯一の対外貿易埠頭。1981年、深セン、珠海、汕头が中国の経済特区と認定したときから、広州はこの三大都市の連結点として、外資系企業や先進技術の導入に足を踏み入れた。改革開放以来、外資系企業を受け、都市の発展に力を注いた。新しい建築物がどんどん建てられ、都市の風景が一変した。交通量も大幅に改善できた。1986年、広州は6000台あまりのタクシーを導入し、市民の交



1970年代の珠江新城、信じられますか、当時は田んぼだらけの珠江新城は今高層ビルぞりと並んでいます。

<http://www.pocketpagewhely.com/szgz/48065/>



2002-2012年 10年間の広州市GDPデータ、広州がここまで発展してきたことはある人物の感謝すべき、それは鄧小平である。彼は経済特区を指定しなかったら、広州はこの10年間でここまで発展してきたと考えられなかつた。

<http://roll.sohu.com/20130227/n367239455.shtml>



珠江新城の高層ビル群、特にIFCビルは色使いも派手すぎず素敵



ライトアップされた広州タワー



全ての写真出展

<http://www.pocketpagewhely.com/szgz/48065/>

通運動の難題に解決できた。

これまで広州市にシンボル的な建物がなく、珠江新城でのアジア競技大会が開いたことによって、広州も唯一無二の建物で都市レベルをあげべきだ』そして、今までには中信広場を都市の名所としたが、流石に中信広場は広州のシンボル建物にはなれないの、「小蛮腰」(細い腰)が誕生することで、広州に現代的なシンボルマークができた。広州タワーは主に観光機能、電波発射機能、都市地域機能の三つの機能を果たしている。

広州タワーは広州市の中軸線と珠江ランドスケープの真ん中に位置する。新しい都市計画は北は燕嶺公園から、南は南沙まで、北からそれぞれ6000台あまりのタクシーを導入し、市民の交通量も大幅に改善できた。1986年、広州は6000台あまりのタクシーを導入し、市民の交通量も大幅に改善できた。1986年、広州は

臨江ランドスケープ区、テーマ文化区、海珠行政中心区、農園保護区と広州新物流区となる。珠江

ランドスケープはそれぞれ西から東へは都市建設完成見学区、都市中心核心区と浜水新都市発展区

これらの区間では見学ができ、それぞれ広州の歴史、文化、経済と観光名所を展示している。

観光塔兼電波発射発射の広州タワーは、周辺都市及びテレビ局用地、その面積はおよそ56.6万m²。区域内では観光塔を含めて、公園広場、テレビ局、赤岡塔公園、公共施設などの面積はおよそ876万m²。観光塔を発射塔代わりにもする、先端に発射装置もあり、テレビ電波やラジオ電波とマイクロ波を発している。

広州タワーは広州の新しいランドマーク、新しい姿となる。